



IAA 国際モーターショー:あらゆる種類のモビリティに向けた 気候にやさしいソリューション ボッシュ、e モビリティの売上高が 10 億ユーロ超の見通し 運転支援分野は 40%成長の見込み

2021 年 9 月 6 日
PI 11375 BBM ts/Bär

- ▶ ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会会長フォルクマル・デナー:「e モビリティはボッシュのコア事業となり、CO₂フリーモビリティが成長分野として挙げられます」
- ▶ ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバーのシュテファン・ハルトウング:「2035 年には、全世界で新規登録される車両の 60%が電気自動車(EV)になる見込みです」
- ▶ 業績状況:モビリティ事業は 10%成長の見通し
- ▶ 有望な新分野:ボッシュは、運転支援分野におけるマーケットリーダーであり、e モビリティでも市場を上回る速さで成長
- ▶ 初披露:ボッシュは今回の IAA において、コントロールボックスのない初めての電気自動車向けの充電ケーブルを披露

ミュンヘン(ドイツ) – eBike から建設機械、そしてシリコンカーバイドチップから一体型 eAxle モジュールまで、e モビリティにおいて、ボッシュほど多くの選択肢を提供している企業はありません。しかも、既に利益をもたらしています。ボッシュは e モビリティにおいて市場の 2 倍の速さで成長しており、今年の売上高は、10 億ユーロ超となる見通しです。この事業の勢いは止まらず、2025 年には、売上高が 5 倍に成長する見込みです。「e モビリティはボッシュのコア事業となり、CO₂フリーモビリティが成長分野として挙げられます。私たちは課題を機会に変えるという、ボッシュのやり方を貫いています」と、ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会会長のフォルクマル・デナーは、ミュンヘンで開催される IAA 国際モーターショー2021 で述べています。これらの成長分野には自動運転も含まれます。運転支援は、あらゆるレベルの自動運転の基礎となりますが、マーケットリーダーであるボッシュは、この分野においても市場より急速に成長しており、その成長率は 40%に及びます。ボッシュは、e モビリティと自動運転分野における健全なポジションにより、コロナ禍、半導体不足、そしてモビリティを取り巻く環境の激変が際立つ市場環境の中でその地位を維持しています。モビリティソリューションズ事業セクターの今年の売上高は、10%増となる見通しです。「ボッシュはテクノロジーリーダーであり、これは事業の成功を意味します」と、デナーは語っています。

電動走行 – ボッシュのハイテクによる飛躍的進歩

e モビリティは、ボッシュの次のサクセスストーリーとなることが明らかです。ボッシュは、これまでの 50 億ユーロにのぼる先行投資と、市場で最も効率的な電動パワートレインソリューションによって、市場の飛躍的進歩に貢献しています。2021 年だけでも先行投資は 7 億ユーロに達します。ボッシュは、積極的に未来を形成しています。「私たちは、世界中で高まる電気自動車需要に備えています。2035 年には、新規登録される車両の 60%が、電気自動車になると見込んでいます」と、ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバーでモビリティソリューションズ事業セクター統括部門長のシュテファン・ハルトウングは述べています。eBike において、ボッシュは、革新性が市場を創造できることを過去 10 年間にわたり示してきました。ボッシュの狙いは、あらゆる領域で未来のモビリティを形成することです。「特に EU が設定した新しい目標を踏まえるだけでなく、気候に優しく、そして手頃な価格かつ魅力的でなくてはなりません」と、デナーは付け加えます。「さもなければ、人やモノは将来にわたって移動性を維持できないでしょう」。これを実現するために、ボッシュは技術中立的なアプローチを追求し続けており、国策の要件に従い、あらゆる種類のモビリティに向けた気候にやさしいソリューションを世界中で提供しています。ボッシュは、バッテリー電動パワートレインのみならず燃料電池パワートレインにも投資しており、中国、米国、欧州のお客様のプロジェクトに寄与しています。ボッシュのテクノロジーを搭載した最初のトラックは、すでに中国の公道を走行しています。

ボッシュのテクノロジーは、人々の日常生活において快適性の向上に貢献しています。電動走行においては、充電が決定的な役割を果たします。ボッシュはミュンヘンにおいて、新たに開発したフレキシブルな電気自動車向けの充電ケーブルを初披露します。このケーブルの特長は、統合された制御・安全技術と、タイプ 2 および家庭用コンセントに対応するアダプターを備えている点です。230V の電源ソケットで充電する場合でも、通常であればケーブルに組み込まれているコントロールボックスなしに充電することができます。そのため、重量は 3kg を下回り、従来のコントロールボックス付き充電ケーブルよりも約 40%軽量です。さらに、ボッシュのウェブベースの充電サービスを通じて、欧州で 20 万カ所以上の充電スポットへのアクセスと簡単な支払い手続きまで可能となり、ドライバーは出先で充電場所を探す手間から解放されます。

自動運転 – ボッシュはワンストップですべてを提供

コントロールユニット、センサー、AI の領域:ボッシュの製品ポートフォリオは、自動運転のあらゆる要素を含んでいます。ボッシュは、すべての自動運転レベルに取り組む約 5,000 人のエンジニアを擁しています。これらの要素の中で特に注力しているのが、ドライバーがハンドルから手を離すことを可能にする運転支援機能です。ボッシュの技術により、完全ドライバーレス機能もすでに実現しています。「ボッシュは、自動パーキング(AVP)の分野におけるパイロットプロジェクトによって、ドイツと米国で基準を確立しました」と、デナーは述べています。ボッシュは既に、メルセデス・ベンツおよび他パートナー企業と、シュトゥットガルト空港 P6 駐車場で運用開始に向けて協働しています。新型のメルセデス・ベンツ S クラスは、AVP に必要な技術を備える世界初

の量産車として、すでにこの機能に対応しています。ドライバーレスの車両がスマートフォンの指示で予約済みの駐車スペースに自動的に進むことができるように、ポッシュは定置カメラなどのテクノロジーを駐車場に装備しています。2025年までに、さらに1,000カ所の駐車場にこれらの技術を導入していく見込みです。こうした開発に伴ってあらゆる面で利便性が高まりますが、ポッシュは、とりわけ交通安全の向上を実現するものとして自動運転を捉えています。ポッシュは横滑り防止装置や自動緊急ブレーキなどのシステムを他に先駆けて開発し、交通事故のないモビリティという目標を追求し続けています。それと同時に、車両に必要な知能の基礎となる革新的なソフトウェアを提供しています。「ソフトウェアが支配する未来のモビリティにおいても、私たちの深い専門知識は強みになるでしょう。ポッシュは、車載エレクトロニクスの世界にも、車両同士をつなぐモノのインターネット化の世界にも精通しています」と、デナーは語りました。

車両のネットワーク化 - モビリティの域を超えたネットワーク化を実現

ポッシュが10年前に予測したとおり、自動車とインターネットの通信はますます増加しています。将来、ソフトウェアはパワートレインの性能や効率性と同じくらい重要になるでしょう。ポッシュは、積極的にこの変化を形成しており、そのための体制を整えています。モビリティソリューションズ事業セクターで研究開発に携わる従業員の約半数は、ソフトウェアエンジニアです。ポッシュの新しいeBikeフローアプリが示すように、自転車さえもインターネットの一部になろうとしています。それにより、たとえばコンポーネント内のソフトウェアのアップデートが可能になります。加えて、ソフトウェア統合もますます重要になっています。ここでもポッシュは必要な専門知識を有しています。たとえばインフォテインメントコンピューターの場合、2025年には、その演算処理能力とソフトウェアの複雑性は2倍になるでしょう。ポッシュは、さまざまなソフトウェアモジュール同士が確実に連携することを保証します。さらにネットワーク化に関しては、ポッシュのアイデアは自動車にとどまりません。「ポッシュは自動車だけではなく、工場や住宅の環境にも精通しています。私たちは他の企業とは違い、異なる領域を相互につなぐことができます」と、ハルトウングは語ります。今年の4月から、MBUXボイスアシスタントを装備するメルセデス・ベンツのモデルは、ポッシュのスマートホームアプリのコマンドセンターにもなっています。運転席からボイスコマンドでスマートホームに接続して、照明を消したり、ブラインドを開けたり、暖房を操作することができます。このようにポッシュのテクノロジーは、持続可能で安全そしてエキサイティングなモビリティへの道を切り開いています。

報道用写真: ##9231c1b5, #f4f5e097, #718e84c2, #1e2e4630, #dfbe05cd,
#ebeb4b0e, #3271234, #3271234, #3294800, #1709802, #c2772624,
#7b079361

報道関係対応窓口:

Thorsten Schönfeld,

電話: +49 711 811-43378

Twitter: @BoschPresse

モビリティソリューションズは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2020年の売上高は421億ユーロで、グループ総売上高の59%を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズ事業は、安全でサステナブルかつ魅力的なモビリティを目指し、パーソナライズ化、自動化、電動化、ネットワーク化の領域においてグループ全域にわたる知見を結集させ、お客様にモビリティのためのトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー／パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバーアシスタンスシステム／自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントやVehicle-to-Vehicle (車車間)およびVehicle-to-Infrastructure (路車間)通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト／テクノロジー／サービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置ESC (エレクトロニックスタビリティコントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2020年の従業員数は約39万5,000人(2020年12月31日現在)、売上高は715億ユーロ(約8.7兆円*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー4.0さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュは、サステナブル、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループは、AI(人工知能)を搭載する、もしくはAIが開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライフを円滑にすることを戦略目標に掲げています。ボッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社440社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュは2020年第一四半期に、世界400超の拠点をカーボンニュートラルを達成しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界129の拠点で約7.3万人の従業員が研究開発に、そのうち約3.4万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

*2020年の為替平均レート、1ユーロ=121.8458円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式YouTube (日本語)